



College report

vol.31
2024.12

東京聖栄大学報

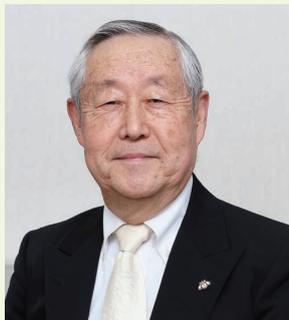


青木葛飾区長 視察

CONTENTS

理事長・学長メッセージ／大学トピックス……………	2	地域共創・食育活動……………	10
校友会の活動……………	3	後援会／聖栄会……………	11
管理栄養学科の活動／食品学科の活動……………	4・5	令和5年度決算報告……………	12・13・14
研究関連……………	6・7	附属わたなべ幼稚園／人事……………	15
学生支援センター……………	8・9	大学トピックス／学生募集要項……………	16

理事長・学長メッセージ



状況変化対応能力と 総合「食」専門家育成大学の新たな認識

理事長・学長 田所 忠弘

東京聖栄大学には「食」の追究を維持する原動力、即ち「感性」と「科学性」の両立を目指す教育とその遂行に確固たるものがあります。世界で2億人以上の感染と460万人もの命を奪っているコロナ危機の状況にも敢然と立ち向かい、食の新たな時代の幕開けにも対応可能な創造力と実践力を持ち合わせた学生の育成にあたる教職員スタッフ努力のお陰で、今日まで無事危機を乗り切ることができております。よって学生を始め、保護者の皆様、さらに卒業生にも、改めて本学の良さと強さを再認識頂ければ幸いです。常識と個人の自由度、あるいは生命と経済とのバランスをどう天秤にかけ、いかに人間生活を維持できるかが世界中の指導者たちが苦慮している現実が見え隠れしています。世界危機コロナ禍を乗り切る根源は、生活とそれを支える「食」にあると言っても過言ではないかと思えます。この機こそ本学を再認識し、新しい世代の価値観を共有できる皆の大学であるようさらなる継続努力こそが大切かと思えます。

大学トピックス

発明「体に脂肪がつきにくい焼き菓子」の特許権を取得しました！

本法人がかねて審査の請求を行っていた発明、「体に脂肪がつきにくい焼き菓子」について、正式に特許の査定があり、権利化が得られました。令和6年8月6日（火）『特許証』が、代理人である羽根木国際特許事務所代表弁理士・土田幸弘先生から、田所理事長・学長に届けられ、本法人にとって保有する第1号の特許権となりました。

<特許内容>

- ・特許第7496630号
- ・発明の名称：「体に脂肪がつきにくい焼き菓子」
- ・特許権者：学校法人 東京聖栄大学
- ・出願番号：特願2022-154286
- ・出願日：平成30（2018）年1月9日（原出願日）
- ・登録日：令和6年5月30日
- ・発明者：矢島克彦氏（職務発明当時 本学助教 退職）

*なお、本件発明は、矢島克彦先生が本学に在籍された当時の科研費助成事業の研究がベースになっており、職務発明に係る本学規程に基づき、特許を受ける権利は、平成29年9月14日付で本法人へ譲渡されています。



学友会の活動

【会長挨拶】

学友会会長 食品学科3年次生
緒方 耕大



今年度学友会会長に就任しました食品学科3年次の緒方耕大です。昨年に引き続き、総会や新入生歓迎会をはじめ体育祭や大学祭を開催することができました。

新役員27名を迎え、私たちは新たな体制で活動を始めました。不安を感じる場面も多々ありましたが、それ以上に大きな期待と情熱を持って取り組んでいます。

私は「学科間分け隔てなく学生生活を送ること」を目標に掲げています。学科を超えた交流の場を提供し、学生同士が協力し合える環境を整えることで、より豊かな学生生活を実現していきたいと考えています。

学生の皆さんのサポートに努め、さらなる活動の充実を目指していきます。皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

【体育祭】（令和6年5月25日（土））

今年度の体育祭では、テーマ「白熱した体育祭～超える学科の壁～」のもと、2年生の実行委員長を中心に、綱引きやお楽しみリレー、8の字跳び、リレーなど多彩な競技を考え、用意しました。特に、各競技には学科混合チーム制を取り入れたことで、普段関わりの少ない他学科の学生同士が協力し合う姿が見られました。

綱引きでは全員が力を合わせて勝利を目指し、8の字跳びでは息を合わせることで一体感が生まれました。またお楽しみリレーでは、ユニークなアイテムを取り入れ、会場は笑顔と歓声でいっぱいとなり、リレーの最終種目で応援のボルテージも最高潮に達し、会場全体が一つに無事に終わりました。



【学友会総会】

令和6年4月9日（火）に学友会総会、部・同好会説明会、新入生歓迎会を実施しました。総会では新役員27名の選出や決算報告、今年度予算の審議が行われ、承認されました。



【新入生歓迎会】

総会に引続き新入生歓迎会では、お菓子文化研究家の原亜樹子先生をお招きし、「現代のお菓子事情」についての講演が行われました。食を学ぶ学生たちにとって興味深い内容で、学びの意欲が刺激される場となりました。歓迎会の最後に抽選会が開かれ、新入生と在在学生の間での交流を深める機会となりました。

また部・同好会説明会では、各団体の代表者が活動内容を紹介し、新入生に向けて各団体の魅力をアピールしました。



【聖栄葛飾祭】（令和6年11月9日（土）～10日（日））

今年度の聖栄葛飾祭は、「食を通して広がる輪～食の道標～」をテーマに、多くの企画が展覧・展示され、盛大に開催しました。

学友会企画では、学友会レストランやクイズラリー、フードドライブ、バザーといった多彩な企画を実施し、来場者の皆様楽しいひとときを提供できたと思います。

特に学友会レストランでは、学生が自ら調理や接客を行い、日々の学びで得た食に関する知識や技術を発揮する場となりました。

また各学科では、工夫を凝らした体験型の企画が行われ、訪れた方々に学科ならではの特別な体験を提供できたと思います。さらに様々な企業様からご協賛をいただき、大学祭全体を一層盛り上げることができました。

ご支援、ご協力をいただいた皆様、そしてご来場いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



管理栄養学科の活動

先輩の活躍を学ぶ（教職課程情報交換会）

令和6年9月28日（土）に教職を学ぶ在学生と卒業生との交流会を開催しました。卒業生7名、在学生36名が参加し、情報交換を行いました。参加した学生の感想として「机上では学べない現場の話を聞き、学校栄養職員や栄養教諭として働きたい。働くことへの不安が少し解消された」（4年）、「仕事内容や教員採用試験の勉強方法など教えていただき勉強になった」（3年）、「就職だけでなく大学生活の時間の使い方を教えてもらえた。資格取得に努力したい」（2年）、「面接のポイント・自分の見せ方の工夫、栄養士の日も勉強になった」（1年）等があげられました。本学卒業生の先輩のナマの声と話の所作に集中する学生達が時間を忘れて学び合う姿がありました。これから先へ成長する学生に期待したいと思います。



「かつしか健康食育フェア2024」に管理栄養学科の学生・教員が参加しました。

令和6年11月24日（日）健康プラザかつしか（保健所）において、かつしか健康食育フェア2024が開催されました。管理栄養学科の教員3名の引率のもと、学生が「食べ物の仲間あてゲーム」や「ぬり絵」のコーナーを設け、来場者に食べ物また健康への気づきなどの食育実践を行い、清古保健所長（健康部長）から感謝・評価のお言葉をいただきました。

今回のような住民の健康づくりや食育に関する行政との連携した取組は、本学と葛飾区が締結している、包括連携協定、また、葛飾区民の食育・健康づくりに関する協定に基づいて行われています。



国試対策室

社会が管理栄養士に求めているものは、質・量ともに近年ではより高くなってきています。その結果、管理栄養士国家試験の難易度も上がっているのが現状です。本学科では、3年次生後期から対策を開始し、4年次生には10回以上の模擬試験や国家試験を念頭に置いた講義・勉強会などを繰り返し行っています。教員全員がこの教育に参加していますが、取りまとめを国試対策室が行っています。

令和6年3月卒業の16期生は厳しい環境の中でも、全国平均を上回る合格率で頑張ってくれました。栄養に関するプロフェッショナルとなるための学びを行うことは当然ですが、身につけたその能力を発揮するためにも、管理栄養士の資格をもって社会に出て行くサポートができるように努力しています。

卒業生の皆様、短大を卒業した皆様で管理栄養士国家試験を受験したいと考えている方へも模擬試験や受験勉強のサポートも実施しております。ぜひお問い合わせください。



食品学科の活動

農都交流ツアー（福島県埴町との連携事業）

令和6年9月21日(土)～22日(日)及び11月23日(土)～24日(日)に本学が復興支援・連携事業で関わっている福島県埴町の農都交流に合計16名の学生が参加しました。この農都交流に参加した学生は、農作業体験を通じて地域の生産者の方々と交流しながら第一次産業についての知識深める貴重な機会となりました。



聖栄葛飾祭で2つの学科企画を実施しました

特製加工食品販売と出張「ダリちゃんショップ」

食材と作り方にこだわった加工食品の販売と、東日本大震災の復興を支援している福島県埴町の特産品店「ダリちゃんショップ」を開催しました。旬に収穫した柑橘類や桃、いちごのジャム、椎茸入りごはんパン、フランス菓子のクロッカシ、食べるラー油の6品を販売しました。試作を重ねた自信作で、長蛇の列ができるほどで好評でした。



具材たっぷりの「辣椒油」 ザクザク食感のクロッカシ きのが香るごはんパン



ダリちゃんショップ



大賑わいの会場



黄金柑入りのマーメレード、プレザーブタイプのジャム

感覚の不思議体験企画

五感のなかでもおいしさに大きく関わる「味覚・嗅覚・視覚」に関する体験コーナーを開催しました。味覚と嗅覚コーナーでは薄い溶液を飲んで基本五味を当てたり、香りで変わる味の強さを答えるなどクイズ感覚で楽しんでいただきました。視覚コーナーではミニ講義と実践を通して「映える」写真の撮り方を学んでいただきました。



味覚コーナーでは5種類の溶液をテスト



視覚コーナーの講義と撮影体験の様子とでき上がった作品



嗅覚コーナーでは5種類の香り付き砂糖水をテスト

研究室紹介

食品微生物学研究室 山本 直子

本研究室では、麴を使った発酵食品について研究を行っています。また、食品の安全性との観点から衛生微生物に興味を持って調査しています。食品を扱ううえで、安全性は大変重要です。食品微生物検査技士という資格を取得する学生が興味を持っています。

研究室は現在、4年次生1名と3年次生5名が在籍しています。微生物を利用して美味しい食品の開発を目指している学生が集まっています。昨年度のゼミ生は大学の桜花から採取した酵母で発酵させたパンを開発しました。また、麴を利用して塩麴を作り、塩麴とキノコで肉を漬けて食味や食感の違いを検討しました。



研究関連

科研費 KAKENHI

科学研究費とは、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、文部科学省及び日本学術振興会が取り扱っています。

※教員の役職は、採択時のものです。

○真空包装による野菜の調味効果と組織構造との関連性および新規利用法について

若手研究 研究代表者：熊谷 美智世准教授

真空包装とは包装材に食品などを入れて包装内部を吸引脱気して密封する方法です。保存を目的に行われるほか、加熱をとまなう真空調理にも用いられています。真空調理の特徴の一つとして味がよくしみ込むといわれていることから、真空包装後と加熱後に分けて調味料濃度を調べたところ、真空包装後においては常圧包装後よりも有意に味がつくことがわかりました。野菜に調味するためには加熱などにより細胞膜機能を消失させる必要がありますが、真空包装ではその必要がないことから、生の状態の食感を失うことなく調味可能であると考えられます。そこで、本研究では真空包装による調味の現象を種々の野菜について調べ、そのメカニズムを解明するとともに、新たな調理法としての活用法を検討します。

○「筋・血液を介した身体活動誘発性miRNAががんの発症やがん患者の余命に与える影響」

基盤研究 (C) 研究代表者：膳法 浩史准教授

運動をはじめとする習慣な身体活動が「がん」を予防することは知られていますが、そのメカニズムについては不明なままです。本研究は、ヒトの体内で作られているマイクロRNA (miRNA) という分子に注目し、日本人における身体活動誘発性miRNAががんに与える影響を検討します。「なぜ、身体活動ががんに効果的なのか？」を明らかにできれば、国民に対する更なる運動の推奨と、運動を模倣した創薬の開発が期待されます。

○「超音波動画像と筋電図と嚥下音を用いた非侵襲計測による嚥下評価のための装置開発研究」

基盤研究 (B) (一般) 研究分担者：谷本 守正教授 (代表：鈴木 裕 東洋大学准教授)

超高齢者社会を迎える日本において、高齢者の死因第1位は肺炎であり、その多くが誤嚥性肺炎に起因します。しかし現状、嚥下機能を非侵襲（身体に負担をかけない）で計測できるシステムは存在せず、検査は患者様の負担が大きいものです。そこで本研究では嚥下超音波動画像と嚥下音と頸部筋電図の3種信号を同時採取し各種解析・手法で嚥下能力の計測装置の研究開発を行い次代の医療機器としての実現を目指します。この実現のためには、以下ABCの各研究班の深いつながりとお互いのフィードバックにより実施されます。A：超音波動画像、嚥下音、筋電図同時計測による非侵襲嚥下評価システムの開発研究 B：実験用嚥下評価用食材の開発、誤嚥防止フードデザインへの考察 C：新しい評価法の臨床評価と各種嚥下評価法の有効性の考察 私は主にB研究班の遂行に励み、高齢になってもいつまでも美味しいものを食べられる食品の開発につなげます。

○「瞬発系・持久系トップアスリートに特徴的な遺伝子多型・変異の同定と機能解析」

基盤研究 (B) 研究分担者：膳法 浩史准教授 (代表：福 典之 順天堂大学准教授)

ヒトの体力には大きな個人差があり、遺伝と環境の両方が関与しています。環境的要因は、トレーニングや栄養などの影響がわかっていますが、遺伝的要因についてはよくわかりません。双子研究や親子研究によると、筋力の個人差は遺伝と環境が約50%ずつ関与しているようです。

本研究は、具体的にどのような遺伝子とその個人差に関与しているかを明らかにします。具体的には、①トップアスリートの瞬発系・持久系運動能力に関連する遺伝配列の違い（遺伝子多型・変異）を同定し、②その遺伝子多型・変異によって調節される遺伝子の機能的役割を明らかにします。

○初等・中等教育家庭科における「だし教育コンテンツ」の開発と活用

基盤研究 (C) 研究代表者：福留 奈美教授

「だし」は和食文化を特徴づける重要なキーコンテンツのひとつです。小学校家庭科では、これまでも5年生のみそ汁を作る調理実習でだしを取ることをしてきましたが、新しい学習指導要領（平成29年告示）では「和食の基本となるだしの役割」が明記され、「だし」をどう教えるかが問われることになりました。しかし、だしの取扱いに関する教師研修の機会も教材研究のための情報蓄積も不十分な現状があります。そこで、本研究では、だし教育のためのさまざまな教育コンテンツ（たとえば教材として使いやすい図表や各種データ、動画、ワークシート、活動アイデアなど）を開発し、現場教師の意見を反映して改良を加え、だし教育コンテンツのモデルとして情報公開し提案することを目指しています。

令和6年度 受託研究 一覧

No.	研究責任者	研究課題名	委託者
1	小林 陽子 教授 宮内 眞弓 教授	「かつしかの元気食堂」推進事業に関する研究	葛飾区
2	北村 義明 教授	製パンにおける食塩の機能の客観的な把握とサワー種を用いた減塩パンの品質改善に関する研究	公益財団法人 飯島藤十郎記念食品科学振興財団
3	熊谷美智世 准教授	家庭における食器の使い方と属人性からみる「和食」の継承	公益財団法人 アサヒビール財団

特別研究・共同研究発表会

特別研究・共同研究発表会が令和6年7月6日（土）に開催されました。
発表研究数は4件ありました。本学学内研究費を得て実施された令和5年度の研究について、発表と活発な質疑が行われました。



No.	代表申請者	研究別	研究課題名
1	風見 公子 教授	共同	幼児の食生活習慣について
2	宮内 眞弓 教授	共同	南葛 SC との協働事業
3	小林 陽子 教授	共同	葛飾区との協働による「元気食堂推進事業」における食環境整備に関する研究
4	福田 亨 教授	特別	食品含有成分による骨代謝調節機構の解明

令和6（2024）年度 特別研究・共同研究

本学教育研究取扱要項第2項及び第3項の規定に基づき、特別研究・共同研究を毎年度募集しており、申請された研究課題については、研究推進委員会において審査し採否の決定をしています。今年度の特別研究・共同研究計画申請について以下の通り採用決定しました。

令和6年度 特別研究・共同研究計画申請者一覧

No.	代表申請者	研究別	研究課題名
1	福田 亨	特別	食品含有成分による骨代謝調節機構の解明 ＜令和6-7年度 2年計画＞
2	風見 公子	共同	幼児の食生活習慣について（共同研究者：小林陽子、高橋美恵子）
3	小林 陽子	共同	葛飾区との協働による「元気食堂推進事業」における食環境整備に関する研究 （共同研究者：佐藤ひろ子）
4	福留 奈美	共同	料理雑誌にみる食と健康のトレンド-『栄養と料理』他の目次の変遷- （共同研究者：折口いづみ）
5	宮内 眞弓	共同	産学連携を通じたアクティブラーニングの試み—サミットストアにおける取組— （共同研究者：小林陽子、高橋美恵子、佐藤ひろ子、星野浩子）
6	柴田 隆一	共同	南葛 SC との協働事業 —レシピ動画の作成— （共同研究者：小林陽子、宮内眞弓、膳法浩史）

学生支援センター

令和6年3月卒業生就職結果

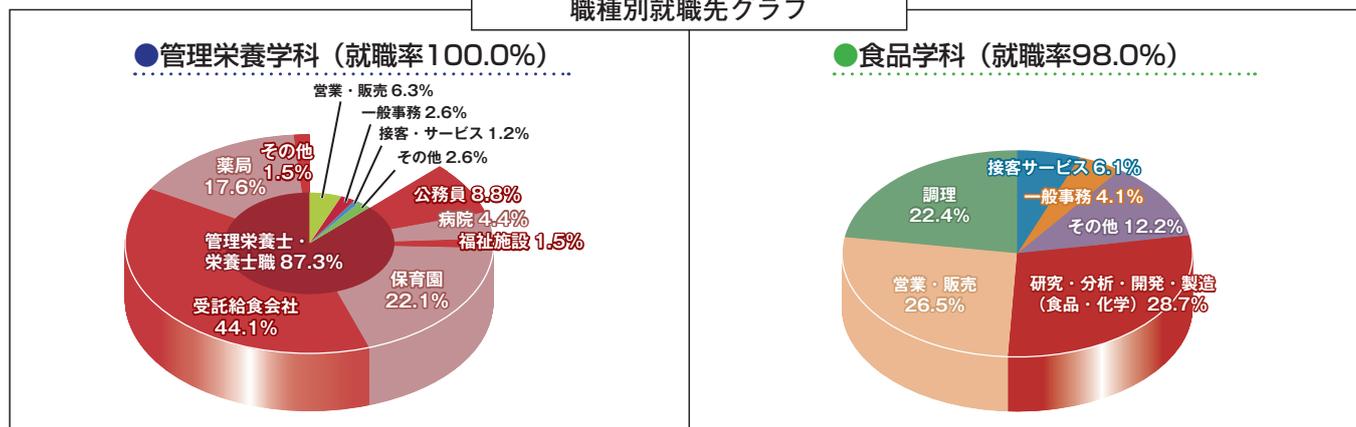
第16期生（令和6年3月卒業生）の就職率（就職希望者比）は、学部合計で99.2%でした。学科別には、管理栄養学科は管理栄養士職を中心に100.0%、食品学科は食品企業の研究・技術・製造職や調理、営業職を中心に98.0%となりました。本学の就職活動は、学生・保護者・教員・学生支援センターの連携により行っています。卒業生の多くは学業に関連した業種職種に就職しており、卒業生が就職先で大いに活躍することを期待しています。

＜卒業者数と就職者数＞

	卒業者数	就職希望者数	就職者数	就職率 (%)
管理栄養学科	85	79	79	100.0
食品学科	56	50	49	98.0
合計	141	129	128	99.2

第16期生（令和6年3月卒業生）の就職状況（就職率99.2%）

職種別就職先グラフ



第16期生（令和6年3月卒業生）の主な就職先

■管理栄養学科 ＜管理栄養士・栄養士職等＞

公務員	東京都職員Ⅱ類（栄養士）／東京都特別区職員（一般事務職）／足立区栄養士（非常勤）／葛飾区栄養士（非常勤）／江東区栄養士（非常勤）／川口市栄養士（非常勤）／川崎市栄養士（非常勤）
病院・福祉施設	（独）国立病院機構関東信越グループ／（医）成仁／（医）福寿会
受託給食会社	（株）アール・ティー・コーポレーション／エムサービス（株）／（株）グリーンハウス／コンパスグループ・ジャパン（株）／ジャパンウェルネス（株）／（株）センダン／（株）藤江／（株）ベネミール／（株）メフォス／淀川食品（株）／（株）LEOC／（株）レバスト
保育園	（株）こどもの森／（社福）新樹の会 アンデルセン保育園／（株）日本保育サービス／モード・プランニング・ジャパン（株）
薬局・ドラッグストア	（株）くすりの福太郎／（株）クリエイイトエス・ディー／（株）サンドラッグ／（株）スギ薬局／（株）ツルハ／（株）トモズ

※進学先（大学院） 筑波大学大学院 人間総合科学学術院

■食品学科 ＜一般企業等＞

研究・分析・開発・製造（食品・化学）	イニシオフーズ（株）／カネ美食品（株）／ケミコム・ジャパン（株）／コスモ企業（株）／（株）シャトレーゼ／白石食品工業（株）／（株）デザートランド／トオカツフーズ（株）／（株）ニッセーデリカ／（株）ファーストフーズ／（株）ボンパドウル／（株）武蔵野
営業・販売	サミット（株）／（株）シユクレイ／（株）ベルク／マックスバリュ関東（株）
調理・接客サービス	（株）きちりホールディングス／（株）サッポロライオン／テンアライド（株）／（株）人形町今半／（株）ファーストリゾート／（株）プロントコーポレーション／（株）ベストライフスタイル キンプトン新宿東京
その他	（株）ABC Cooking Studio／（株）西武・プリンスホテルズワールドワイド／（株）筑波銀行

※進学先（大学院） 聖徳大学大学院 人間栄養学研究科

令和7年3月卒業生の就職内定状況

（株）リクルートキャリア等の就職情報会社によると、2025年3月卒業予定の大学生・大学院生対象の大卒求人倍率は1.75倍と、2024年卒の1.71倍より0.04ポイント上昇しました。本学の4年次生の就職内定状況（11月30日現在）は、学部合計で87.0%と昨年度比プラス3.8ポイントでした。管理栄養学科は、公務員、病院、給食受託会社等に管理栄養士職として内定している者が多く、内定率は86.1%でした。食品学科は、公務員（調理師）や食品会社の品質管理職、製造職、調理職、営業・販売職等が中心で内定率は88.4%でした。

まだ内定を得ていない学生について、今後も教職員が連携し丁寧な就職支援を継続していきます。関係者の皆様のご協力をお願いいたします。

■令和7年3月卒業予定者の主な内定先等

＜管理栄養士職＞	＜一般企業＞
【公務員】東京都職員（Ⅰ類）栄養士	【公務員】東京都中央区（技能Ⅲ）調理
【公務員】東京都職員（Ⅱ類）栄養士	カネ美食品（株）
【公務員】山梨県甲斐市（管理栄養士）	（株）グルメ和光
（独）国立病院機構関東信越グループ	（株）サンデリカ
IMS グループ	（株）成城石井
国際医療福祉大学 成田病院	東京ドームホテル（株）
医療法人若葉会 柿生記念病院	（株）人形町今半
エムサービス（株）	（株）ファーストリゾート
コンパスグループ・ジャパン（株）	フジパングループ本社（株）
（株）LEOC	まいばすけっと（株）

就職支援・学生活動支援



アセスメントテストフォロー講座



インターシップガイダンス



筆記試験対策 WEB受験講座



新小岩駅北口地域クリーン作戦参加



学内奨学生表彰式



防火・防災訓練

～日本学生支援機構奨学金制度のお知らせ～

日本学生支援機構の奨学金制度「貸与型（無利子・有利子）・給付型」は、勉学に励む意欲があり、経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対して教育を受ける機会を保障する国が実施している制度です。申込時期は、「春期」と「秋期」です。また、災害等により家計急変された際の救済制度として「緊急採用・応急採用」があり随時申込が可能です。なお、奨学金制度利用する際には、「学力基準」および「家計基準」があり、基準を全て満たす必要があります。

【高等教育の修学支援新制度について】

高等教育の修学支援新制度は、大学等の高等教育における授業料や入学金の減免と併せて日本学生支援機構の給付型奨学金による制度として2020年4月からスタートしました。本学は、支援対象校として文部科学省から認定を受けていますので、本学の学生は申請することができます。

本制度における申請は、給付型奨学金『日本学生支援機構』、授業料等減免『大学（本学）』夫々手続きが必要です。申請に関する案内は、学内の奨学金説明会にて行っていますので、利用を検討している学生は、説明会に出席してください。本制度の詳細は以下のホームページをご覧ください。

<ホームページURL>

- ・文部科学省ホームページ「高等教育の修学支援新制度について」

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

- ・独立行政法人日本学生支援機構ホームページ「進学資金シミュレーター」（支援区分確認等）

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html>

奨学金に関するお問合せは、学生支援センターまで



地域共創・食育活動

東京聖栄大学×葛飾区地域連携事業「かつしかの元気食堂」10周年記念イベント

「かつしか知っ得メモ」がスタートして15周年、ヘルシーメニューの開発から10周年になることを記念してイベントを開催しました。11月10日（日）午後よりⅠ部では、作家 山口恵以子先生をお招きし、「食は味な人生なり」をテーマに講演をして頂きました。山口先生は、本学がある新小岩を舞台にした「うれしい居酒屋シリーズ」やかつてご自身が勤務されていた丸の内の食堂を題材にした「食堂のおばちゃん」シリーズ等大人気の著書を多数執筆されています。軽快でしっとりとしたお話を聞き、ほっこりした気持ちになりました。

Ⅱ部では、「食を通して未来のかつしかを元気にしよう！」をテーマに、この事業に関わっている5名のシンポジストから発表頂き、この事業がさらに発展し、区民に役立つことを目指そうと再確認しました。



青木葛飾区長 挨拶



山口恵以子先生 講演



地元地域のイベントに参加協力を行っています。

本学は、年間を通じて地元地域の各種イベントに参加協力を行っています。

令和6年8月24日（土）・25日（日）新小岩駅北口夏祭り、10月5日（土）東北広場祭り、10月14日（祝・月）葛飾区スポーツフェスタ2024にブース出店を行い、調理技術研修生の学生が中心となり、焼きそば等の販売を行い地域住民の方々と交流を深める有意義な機会としています。



本学監修の「かんらん焼売」を葛飾区産業フェアで販売しました。

葛飾区は、日本における春キャベツ発祥の地として知られており、地域の歴史であるこのことを継承し広めることを目的に活動している団体「中野かんらん保存会」からの協力依頼に基づいて、吉田光一先生が調理方法等の指導を行いました。

第40回葛飾区産業フェアにて、「東京聖栄大学監修 かんらん焼売（シュウマイ）」を販売し、吉田先生のゼミ学生たちが販売スタッフや着ぐるみとして当日協力しました。



後援会の活動



後援会会長
石垣由美子

令和6年4月1日（月）、入学式終了後の後援会総会をもって本年度の後援会活動が開始されました。会員の皆様には日頃より後援会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本学の後援会は、学生がより充実した学生生活を送り、将来「食と健康のエキスパート」として活躍できるよう成長できる環境を支えることを目的として活動しております。今年度、行った後援会の事業は①寄付事業②教職員の方々との情報交換会③大学祭の協力です。寄付事業としましては、多くの学生から要望のあった学生食堂の再開に向けた事業運営費の寄付をさせていただきました。学生にとっておいしく・手軽に食べられる学生食堂が再開したことは非常に喜ばしく思います。また、今年度は大学祭の協力をさせていただき学生とともに大学を大いに盛り上げることができたと感じております。これらの活動は、教職員の方々、並びに保護者の皆様からの温かいご支援とご協力があったからこそ成り立っております。この場を借りて、改めて感謝申し上げます。今後も学生たちの健全な成長を支え、東京聖栄大学の発展に寄与するため、後援会一同全力を尽くしてまいります。引き続き、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

後援会の主な活動 令和6年度

- 4月 後援会総会 ○6月 後援会四役会・役員会 ○10月 保護者会
- 11月 聖栄葛飾祭に協力 ○令和7年2月頃（予定） 後援会役員会

聖栄会の活動



聖栄会会長
松崎 政三

大学生生活も本来の活気のある姿に戻ってきました。聖栄会の活動も会員が大学行事などへ積極的に参加を進めています。10月には4年ぶりに食文化研究会が多くの会員の参加のもと、本場香港料理を楽しみながら盛大に開催されました。また、11月には聖栄葛飾祭が大学教職員と学生団体の学友会が中心となり、各分野の研究成果の発表や各出店ブースなど、楽しい雰囲気の中で開催され、聖栄会は卒業生が交流できるブースを設け、両日とも多くの参加者の来場により交流の輪が広がりました。聖栄会は、会員の親睦と資質の向上に、また大学行事へも積極的に参加し、卒業生が社会で大いに活躍し、母校の知名度を高めて行きたいと考えています。在学生には、卒業生の活躍状況などを知り進路を考えるきっかけになればと思います。今後も、こうした活動を聖栄会の発展に繋げて行きたいと考えています。

聖栄会の主な活動 令和6年度

- 4月 聖栄会だより発行 ○5月 学友会主催体育祭に協賛参加
- 6月 令和6年定期総会並びに懇親会開催 ○10月 食文化研究会の開催
- 11月 聖栄葛飾祭に参加協力 ○令和7年3月聖栄大学17期卒業生記念品贈呈
- その他役員会を開催：1月、5月、6月、10月

令和5年度決算報告

学校法人東京聖栄大学

令和5年度の財務状況は、財政計画に基づき収入増、支出抑制の予算編成を行いました。事業活動収入は前年度比2,640万円減の11億9,408万円となりました。

支出については、コロナウイルス感染症対策も不要となり、前年度比1,152万円減の13億958万円となり、基本金組入前当年度収支差額は、1億1,550万円の支出超過（赤字）となり、5期連続の支出超過となりました。

1. 資金収支計算書

令和5年度の資金収支規模は、29億7,750万円となり、前年度より494万円増加していますが、有価証券の早期償還に伴う売買1億5,000万円の増加が主な要因です。

前年度繰越支払資金を除く当年度の収入額は18億7,868万円で、支出額は19億8,408万円となり、翌年度繰越支払資金は1億540万円減の9億9,342万円となりました。

資金収支計算書（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）（単位 千円）

	資金収支計算書			
	科目	予算	決算	差異
収入の部	学生生徒等納付金収入	876,222	875,351	871
	手数料収入	11,338	11,688	△350
	寄付金収入	5,550	5,508	42
	補助金収入	195,050	195,063	△13
	国庫補助金収入	152,539	152,539	0
	都県補助金収入	38,980	38,980	0
	区市補助金収入	3,531	3,544	△13
	資産売却収入	750,000	750,000	0
	付随事業・収益事業収入	7,950	7,950	0
	受取利息・配当金収入	63,702	63,699	3
	雑収入	33,797	34,253	△456
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	328,872	324,645	4,227
	その他の収入	31,259	32,446	△1,187
	資金収入調整勘定	△420,239	△421,927	1,688
	前年度繰越支払資金	1,098,822	1,098,822	
	収入の部合計	2,982,323	2,977,498	4,825
支出の部	人件費支出	732,608	732,162	446
	教育研究経費支出	294,081	287,359	6,722
	管理経費支出	89,552	90,107	△555
	借入金等利息支出	440	440	0
	借入金等返済支出	12,220	12,220	0
	施設関係支出	15,179	15,508	△329
	設備関係支出	57,930	58,342	△412
	資産運用支出	780,000	780,732	△732
	その他の支出	22,187	27,769	△5,582
	[予備費]	10,000		10,000
	資金支出調整勘定	△16,666	△20,559	3,893
	翌年度繰越支払資金	984,792	993,418	△8,626
	支出の部合計	2,982,323	2,977,498	4,825

2. 事業活動収支計算書

事業活動収入は11億9,408万円で、事業活動支出は13億958万円であり、基本金組入前当年度収支差額は1億1,550万円の支出超過（事業活動収支差額比率△9.7%）となり、基本金組入額4,502万円を控除した当年度収支差額は1億6,052万円の支出超過となりました。（基本金組入後収支比率114.0%）

その結果、翌年度繰越収支差額は12億9,638万円と支出超過額が増加しました。

事業活動収支計算書（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）（単位 千円）

	事業活動収支計算書			
	科目	予算	決算	差異
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	876,222	875,351	871
	手数料	11,338	11,689	△351
	寄付金	5,919	5,877	42
	経常費等補助金	194,526	194,539	△13
	国庫補助金	152,539	152,539	0
	都県補助金	38,456	38,456	0
	区市補助金	3,531	3,544	△13
	付随事業収入	4,450	4,450	0
	雑収入	33,797	34,253	△456
	教育活動収入計	1,126,252	1,126,159	93
	事業活動支出の部			
	人件費	729,654	729,209	445
	教育研究経費	481,202	472,779	8,423
管理経費	97,896	98,471	△575	
徴収不能額等	2,518	1,857	661	
教育活動支出計	1,311,270	1,302,316	8,954	
教育活動収支差額	△185,018	△176,157	△8,861	
教育活動外収支	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金	63,149	63,146	3
	その他の教育活動外収入	3,500	3,500	0
	教育活動外収入計	66,649	66,646	3
	事業活動支出の部			
	借入金等利息	440	440	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	440	440	0	
教育活動外収支差額	66,209	66,206	3	
経常収支差額	△118,809	△109,951	△8,858	
特別収支	事業活動収入の部			
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	1,241	1,271	△30
	特別収入計	1,241	1,271	△30
	事業活動支出の部			
	資産処分差額	8,122	6,824	1,298
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	8,122	6,824	1,298
	特別収支差額	△6,881	△5,553	△1,328
	予備費	(10,000)		△10,000
	基本金組入前当年度収支差額	△135,690	△115,504	△20,186
	基本金組入額合計	△79,011	△45,015	△33,996
	当年度収支差額	△214,701	△160,519	△54,182
	前年度繰越収支差額	△1,135,856	△1,135,856	0
基本金取崩額	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	△1,350,557	△1,296,375	△54,182	

3. 貸借対照表

令和5年度末の資産総額は2億357万円減の92億6,911万円です。固定資産は1億244万円減の82億4,387万円になり、流動資産は1億113万円減の10億2,524万円となりました。

負債総額は、借入金返済などで8,806万円減少し、6億9,847万円となりました。

純資産は1億1,550万円減の85億7,064万円となり、財政としては特に問題ない状況です。

貸借対照表 (令和6年3月31日) (単位 千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	8,243,873	8,346,316	△102,443
有形固定資産	4,915,425	5,041,046	△125,621
土地	1,889,389	1,889,389	0
建物	2,587,467	2,685,795	△98,328
その他の有形固定資産	438,569	465,862	△27,293
特定資産	660,854	630,123	30,731
その他の固定資産	2,667,594	2,675,147	△7,553
流動資産	1,025,239	1,126,364	△101,125
現金預金	993,419	1,098,822	△105,403
その他の流動資産	31,820	27,542	4,278
資産の部合計	9,269,112	9,472,680	△203,568

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	319,702	334,875	△15,173
長期借入金	0	12,220	△12,220
退職給与引当金	319,702	322,655	△2,953
流動負債	378,767	451,659	△72,892
短期借入金	12,220	12,220	0
前受金	324,645	391,391	△66,746
その他の流動負債	41,902	48,048	△6,146
負債の部合計	698,469	786,534	△88,065

純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	9,867,018	9,822,003	45,015
第1号基本金	9,709,018	9,674,003	35,015
第2号基本金	70,000	60,000	10,000
第4号基本金	88,000	88,000	0
繰越収支差額			
翌年度繰越収支差額	△1,296,375	△1,135,856	△160,519
純資産の部合計	8,570,643	8,686,147	△115,504
負債及び純資産の部合計	9,269,112	9,472,680	△203,568

4. 財産目録

資産総額92億7,886万円の内訳は、基本財産50億4,618万円(54.4%)、運用財産39億3,652万円(42.4%)、収益事業財産2億9,615万円(3.2%)となっています。

また、負債総額7億484万円の内訳は、固定負債3億1,970万円、流動負債3億7,877万円、収益事業用負債637万円となっています。資産総額から負債総額を差し引いた正味財産は85億7,401万円で、前年度比1億1,464万円減となりました。

財産目録 令和5年度 (総括表) (令和6年3月31日現在) (単位 千円)

I 資産総額	9,278,856
内 基本財産	5,046,184
運用財産	3,936,519
収益事業財産	296,153
II 負債総額	704,842
III 正味財産	8,574,014

区分	金額
資産額	
1. 基本財産	5,046,184
有形固定資産	4,915,424
土地	1,889,388
建物	2,587,467
構築物	15,823
教研機器備品	224,313
管理用機器備品	8,130
図書	188,574
車両	1,729
特定資産	70,000
第2号基本金引当特定資産	70,000
その他の固定資産	60,760
借地権	59,900
電話加入権	860
2. 運用財産	3,936,519
現金預金	993,419
定期預金	400,000
有価証券	1,911,259
差入保証金	9,167
退職給与引当特定資産	38,776
減価償却引当特定資産	552,078
未収入金	28,679
販売用品	54
前払金	2,857
立替金	230
3. 収益事業用財産	296,153
土地	185,313
建物	89,533
構築物	108
現金預金	21,177
短期前払費用	22
資産の部合計 (A)	9,278,856

負債額	
1. 固定負債	319,702
退職給与引当金	319,702
2. 流動負債	378,767
短期借入金	12,220
未払金	17,893
前受金	324,645
預り金	24,009
3. 収益事業用負債	6,373
前受金	1,296
未払法人税等	77
預り保証金	5,000
負債の部合計 (B)	704,842

正味財産 (A) - (B)	8,574,014
----------------	-----------

5. 5カ年連続事業活動収支計算書（旧：消費収支計算書）

令和元年度から令和5年度までの事業活動収支計算書は、別表のとおりです。

5カ年連続事業活動収支計算書（令和5年度）

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		全国平均 医歯系を除く
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	
(教育活動収支・収入の部)											
学生納付金	1,047,364	81.7	1,005,247	77.7	955,260	76.4	898,544	73.6	875,351	73.3	72.3
手数料	17,727	1.4	13,928	1.1	19,038	1.5	15,174	1.2	11,688	1.0	2.2
寄付金	6,877	0.5	6,163	0.5	7,346	0.6	6,032	0.5	5,877	0.5	1.4
経常費等補助金	147,242	11.5	203,948	15.8	185,575	14.8	186,755	15.3	194,540	16.3	14.0
付随事業収入	9,140	0.7	6,546	0.5	3,940	0.3	11,061	0.9	4,450	0.4	3.6
雑収入	14,161	1.1	9,953	0.8	18,078	1.4	18,773	1.5	34,253	2.9	2.8
教育活動収入計	1,242,512	96.9	1,245,785	96.3	1,189,237	95.1	1,136,339	93.1	1,126,159	94.3	96.3
(教育活動収支・支出の部)											
人件費	725,771	56.6	747,764	57.8	732,223	58.6	718,790	58.9	729,209	61.1	50.1
教育研究経費	441,040	34.4	490,372	37.9	469,831	37.6	490,685	40.2	472,779	39.6	35.5
管理経費	112,248	8.8	102,167	7.9	99,282	7.9	108,058	8.9	98,471	8.2	8.4
徴収不能額等	660	0.1	0	0.0	1,678	0.1	2,038	0.2	1,857	0.2	0.1
教育活動支出計	1,279,719	99.8	1,340,303	103.6	1,303,014	104.2	1,319,571	108.1	1,302,316	109.1	94.0
(教育活動外収支・収入の部)											
受取利息・配当金	33,885	2.6	41,584	3.2	55,045	4.4	64,920	5.3	63,146	5.3	1.8
その他の教育活動外収入	3,000	0.2	2,800	0.2	1,900	0.2	4,000	0.3	3,500	0.3	0.3
教育活動外収入計	36,885	2.9	44,384	3.4	56,945	4.6	68,920	5.6	66,646	5.6	2.1
(教育活動外収支・支出の部)											
借入金等利息	1,320	0.1	1,100	0.1	880	0.1	660	0.1	440	0.0	0.1
その他の教育活動外支出	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
教育活動外支出計	1,320	0.1	1,100	0.1	880	0.1	660	0.1	440	0.0	0.2
(特別収支・収入の部)											
資産売却差額	694	0.1	2,602	0.2	2,364	0.2	0	0.0	0	0.0	0.6
その他の特別収入	2,497	0.2	1,379	0.1	1,422	0.1	15,217	1.2	1,271	0.1	1.0
特別収入計	3,191	0.2	3,981	0.3	3,786	0.3	15,217	1.2	1,271	0.1	1.6
(特別収支・支出の部)											
資産処分差額	32,606	2.5	2,889	0.2	14,592	1.2	871	0.1	6,824	0.6	1.1
その他の特別支出	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.1
特別支出計	32,606	2.5	2,889	0.2	14,592	1.2	871	0.1	6,824	0.6	1.2
基本金組入前当年度収支差額	△ 31,057	△ 2.4	△ 50,142	△ 3.9	△ 68,518	△ 5.5	△ 100,626	△ 8.2	△ 115,504	△ 9.7	△ 4.6
基本金組入額合計	△ 100,492	△ 7.8	△ 85,224	△ 6.6	△ 46,608	△ 3.7	△ 126,496	△ 10.4	△ 45,015	△ 3.8	△ 8.9
当年度収支差額	△ 131,549	△ 10.3	△ 135,366	△ 10.5	△ 115,126	△ 9.2	△ 227,122	△ 18.6	△ 160,519	△ 13.4	△ 4.3
前年度繰越収支差額	△ 526,692	△ 41.1	△ 658,241	△ 50.9	△ 793,607	△ 63.5	△ 908,734	△ 74.5	△ 1,135,856	△ 95.1	△ 79.3
基本金取崩額	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1.9
翌年度繰越収支差額	△ 658,241	△ 51.3	△ 793,607	△ 61.9	△ 908,733	△ 72.7	△ 1,135,856	△ 93.1	△ 1,296,375	△ 108.6	△ 81.7

※全国平均は日本私立学校振興・共済事業団「今日の私学財政」大学法人（医歯系を除く）4年度

※上記以外につきましては、本学ホームページ内、情報公表の11.財務情報に記載しております。
そちらでご確認ください。（URL：https://www.tsc-05.ac.jp/about_us/jouhou_koukai/#）

東京聖栄大学 教育研究施設設備充実募金のお願い

本学は平成17年4月、聖徳栄養短期大学を改組して東京聖栄大学を創立以来、社会の急激な変遷に対応して、着々と健康・栄養・食品の教育に関わる大学としての基盤整備確立に努力し、その成果を挙げてまいりました。これも偏に皆様方のご支援、ご協力の賜物と感謝しております。

さて、本学では、予てから教育研究の充実を図り、更なる高度化推進を実現するため、「教育研究充実募金」を行ってまいりました。この寄付募金は財政基盤の強化の一環として、広く内外の学園関係者に呼びかけ、積極的に募金活動を実施いたして、例年募金にご協力くださりまして誠に有難うございました。

つきましては、現在物価高騰による厳しい社会・経済情勢のもとでのお願いで誠に恐縮ではございますが、何卒、ご理解を賜り、募金要綱等をご覧いただきまして、寄付募金にご協力くださいますよう衷心よりお願い申し上げます。

なお、この寄付金は教育研究経常費に充てるものであり、出資目的寄付金ではありません。

この寄付金は、**個人の場合は**特定公益増進法人への寄付金として**所得税法による減免税措置（税額控除）が受けられます**。また、**法人の場合は**、日本私立学校振興・共済事業団の**受配者指定寄付金として、寄付金の全額を損金に算入することができます**。

募金要綱

1. 目的：教育・研究に要する経常的経費に充当するため
 2. 募金目標額：1千万円
 3. 寄付金額：1口 1万円
 4. 募集期間：令和7年3月末まで
 5. 申込書、振込方法：本学所定の用紙をご利用ください
- ◎この寄付金は任意であります。何卒ご協力くださいますようお願いいたします。
- ◎この募金は、個人の場合は所得税法により税額控除が受けられます。法人の場合は受配者指定寄付金として全額損金に算入することができます。詳細については下記にお問い合わせください。
- 学校法人東京聖栄大学事務局財務課募金係 TEL 03-3692-0211(代)

募金申込状況

平成24年度から令和5年度までの募金申込状況は下表のとおりです。
この募金は、別口座に積み立てられ募金の趣旨に則り、有意義に活用させていただきます。

年度	申込件数	金額(円)	年度	申込件数	金額(円)
平成24年度	110	7,910,000	30年度	73	5,930,000
25年度	130	8,395,435	令和元年度	83	6,628,000
26年度	137	6,855,000	2年度	56	5,390,000
27年度	139	8,280,000	3年度	53	6,580,000
28年度	109	5,935,000	4年度	51	5,460,000
29年度	95	6,490,000	5年度	73	5,508,000

東京聖栄大学附属わたなべ幼稚園の活動



幼稚園では教育活動が通常に戻り、園全体の活気溢れる教育が進められています。日々の保育の中で、食育に繋がる取り組みなども各学年で計画的に取り組んでいます。野菜を栽培したり、年齢相応にクッキングなどを経験し、味わう喜びを感じ取っています。毎年計画されている大学との食育活動では、今年も19名の学生が来園し、年長児との食育活動を進めてもらいました。まずは鎌ヶ谷が産地として有名な梨について、説明を聞きながら色や感触、香りなど実際に手に取り、気付くことが出来ました。いよいよ



クッキング…今年にはサンドウィッチづくりに取り組みました。下準備では野菜やハム、パンなどを切ったり、玉子を準備したりしました。

それぞれ好きなものをサンドして美味しくいただくことが出来ました。

10月には運動会を幼稚園の園庭で挙行了しました。今年度は数年ぶりに全学年合同の運動会を行うことが出来ました。観客が四百人以上入っての賑やかな運動会になりました。



園児たちは、猛暑が続く中で日々練習に励みました。その成果をご家族の皆さんが熱い眼差しでご覧になり、たくさんの声援を送って下さいました。かけっこにリレー、遊戯にバルーン、組み立て体操、親子競技と「元気いっぱい、みんなで頑張る運動会」をパワー全開、楽しさの中で終了しました。

地域に根差したわたなべ幼稚園として、今後も様々な教育に取り組んでいきます。



人事について (順不同 敬称略)

事務系

■昇任

令和6年7月1日付
大学事務部学務課 係長
山本 浩作
(前：大学事務部学務課 主任)

大学事務部学生支援センター
学生支援・就職支援課 係長
情報処理センター 業務兼務
富永 裕樹
(前：大学事務部学生支援センター
学生支援・就職支援課 主任
情報処理センター 業務兼務)

企画調整室 主任
情報処理センター 学務課 兼務
小池 直輝
(前：企画調整室 職員
情報処理センター 学務課 兼務)

■採用

令和6年5月1日付
大学管理栄養学科国試対策室 (臨時)
山崎 奈々

令和6年6月1日付
大学事務部学務課 (専任委嘱)
熊田 彩加

令和6年7月19日付
大学事務部入試・広報課 (専任委嘱)
柳本 有里沙

令和6年8月26日付
法人総務部財務課 (専任委嘱)
一井 由希子

令和6年10月9日付
法人総務部総務課 (臨時)
大岩 美千代

大学トピックス

全国栄養士養成施設協会会長表彰を 管理栄養学科風見公子教授が、受賞されました

本学管理栄養学科所属、風見公子教授におかれましては、一般社団法人全国栄養士養成施設協会から、「令和6年度 栄養士・管理栄養士課程の教員に対する会長表彰」を受賞されました。

この表彰は、栄養士・管理栄養士養成施設に長年勤務し、多大な貢献をされた教員に対し、各養成校からの推薦に基づき、その業績を称えて協会会長表彰が授与されるものです。令和6年10月31日（木）、幹部同席のもと、学内伝達式が行われました。



【内部監査室より】

内部監査室では、学校法人の各組織の日常諸業務が適正に運営されていることを監査する業務を行っています。また、学校法人監事の業務遂行の補助及び、監事・公認会計士・内部監査室の三者間の監査情報を有効活用し、相互の連携・協力を図るための三様監査連絡会への出席等を行っており、現在2名が兼務で業務にあたっています。

令和6年度の内部監査計画では、3件の科学研究費助成事業の監査及び附属わたなべ幼稚園の業務監査を理事長の指示に基づき行う予定です。

(内部監査室長 岡田修一)

令和7年度 東京聖栄大学 学生募集要項（抜粋）

健康栄養学部（共学）/管理栄養学科・食品学科（募集定員：両学科共80名）

入試区分	試験日	選抜方法
一般選抜	1期	1月30日(木)
	2期	2月11日(火)
	3期	3月8日(土)
	4期	3月18日(火)

入試区分	試験日	選抜方法
大学入学共通 テスト利用型	1期	* 本学独自の試験 は無し
	2期	
	3期	
	4期	
総合型選抜3期	3月8日(土)	調査書、大学入学希望理由書、面接

*上記以外で、「編入学入試（管理栄養学科・食品学科3・2年次編入）」を実施。【試験日】2期：2/11（火）。
*一般選抜1期は、「入試成績優秀者特待生制度（成績上位者10%以内（最大5名）に対し、入学後300,000円支給）」あり。
*入学願書等は、インターネット出願にて受付。
*各入試区分における出願期間、選抜方法等詳細については本学ホームページ並びに「令和7年度学生募集要項」をご確認ください。



本学ホームページは
こちら

令和7年3月22日(土) 13:00～17:00 (要予約)
～高校2, 1年生対象春のオープンキャンパス～

*午前の部（10:00～12:30）では「栄養・食品系体験講座」を開催。
*当日の実施内容等詳細は、本学ホームページにてご案内いたします。



<お問い合わせ先>

入試・広報課

TEL：03-3692-0238(直通)

E-mail nyushi@tsc-05.ac.jp

発行 東京聖栄大学

〒124-8530 東京都葛飾区西新小岩 1-4-6

TEL：03-3692-0211 (代)

URL <https://www.tsc-05.ac.jp/>